

# 平成 27 年度 三重大学教育満足度調査 報告書（概要版）

## 第 I 部 学部生対象

1. 調査目的 三重大学の中期目標を達成するための措置として、平成 27 年度終了時の学生の満足度の実態を把握し、今後の三重大学の教育改善に資するための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2. 調査概要

- (1) 調査対象 三重大学に在籍する全ての学部生 6,134 名
- (2) 調査時期 平成 27 年 12 月～平成 28 年 1 月
- (3) 調査方法 質問紙調査と三重大学ウェブ調査システムによる調査の 2 種類の方法のうち、学生がどちらか一方を選択して回答した。
- (4) 分析対象者 有効回答者数 1,967 名（32.1%）から、所属が不明な学生と在籍年数が 5 年目以上の学生（医学科は 7 年目以上の学生）を除いた 1,906 名を分析対象者とした。

表1.2.1 分析対象者数

	人文		教育				医		工					生物資源			合計		
	文化学科	法律経済学科	学校教育課程	情報教育課程	生涯教育課程	人間発達科学課程	医学科	看護学科	機械工学科	電気電子工学科	分子素材工学科	建築学科	情報工学科	物理工学科	資源循環学科	共生環境学科		生物圏生命学科	
在籍年数	1年目	52	37	50	1	0	11	15	78	75	31	81	10	47	36	2	16	9	551
	2年目	20	44	34	3	0	4	6	36	69	14	21	7	9	10	24	54	58	413
	3年目	25	52	17	0	3	5	2	27	62	41	83	33	7	13	29	44	45	488
	4年目	24	57	16	5	5	3	2	33	24	31	51	24	33	12	31	49	48	448
	5年目	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	6年目	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
小計	121	190	117	9	8	23	31	174	230	117	236	74	96	71	86	163	160	1,906	
(学部ごと)	311		157				205		824					409					

### 3. 結果

三重大学の教育に関する 46 項目について、平均値と満足群を算出した。

- (1) 平均値 満足の程度を表す 6 段階評定において、「非常に不満」を 1 点、「不満」を 2 点、「やや不満」を 3 点、「やや満足」を 4 点、「満足」を 5 点、「非常に満足」を 6 点とし、平均値を算出した。平均値が高いほど、満足度が高いことを表す。各項目に対して学生が経験したことがない場合や知らない場合のために、6 段階とは別に「回答できない」という選択肢を設けた。「回答できない」を選択した学生データは、欠損値（無回答）と同様に扱った。
- (2) 満足群 6 段階評定のうち、「やや満足」もしくは、「満足」、「非常に満足」のいずれかに回答した学生の割合を満足群とした。

#### 3.1 大学全般についての満足度（次ページ 図 1）

「②三重大学の研究水準について」は、平均値・満足群ともに高く、満足度が非常に高かった。「①三重大学の教育全般について」と「④事務職員の窓口での学生対応」については、80%以上の学生が満足しており、満足度が非常に高かった。

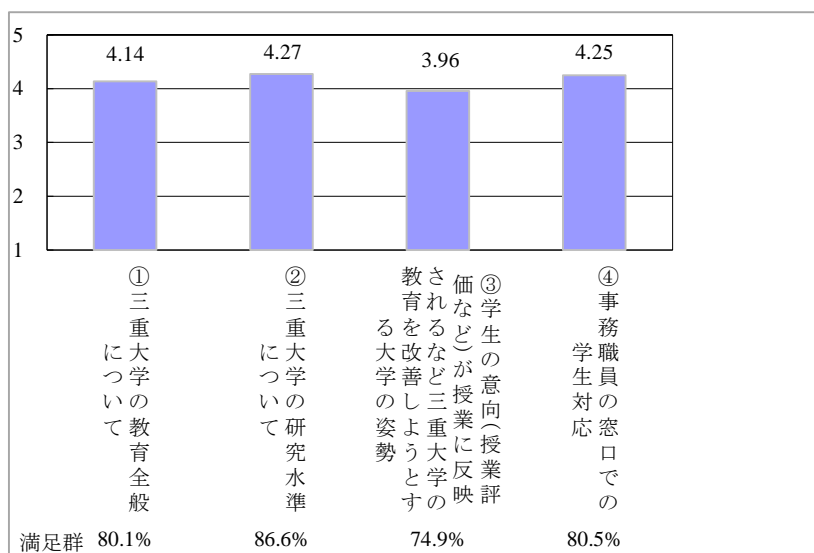


図1 平成27年度 大学全般についての満足度 (学部生)

### 3.2 学外との連携についての満足度 (図2)

「⑤留学支援や国際交流」と「⑥現場体験実習やインターンシップなどの機会」の両項目とも平均値が高く、約85%の学生が学外との連携に対して満足していることが示された。

### 3.3 情報提供についての満足度 (図3)

「⑦休講状況を迅速に学生に伝達するシステム」については、満足を示す学生の割合は小さかった。

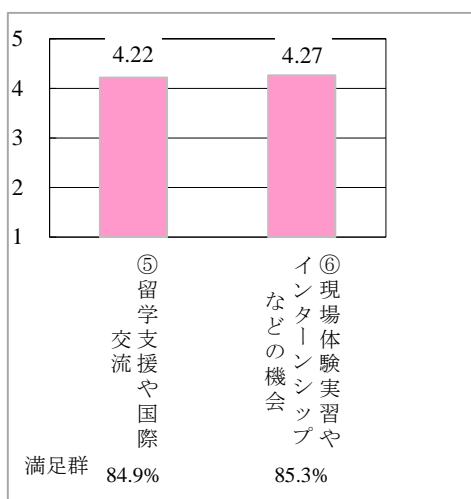


図2 平成27年度 学外との連携についての満足度 (学部生)

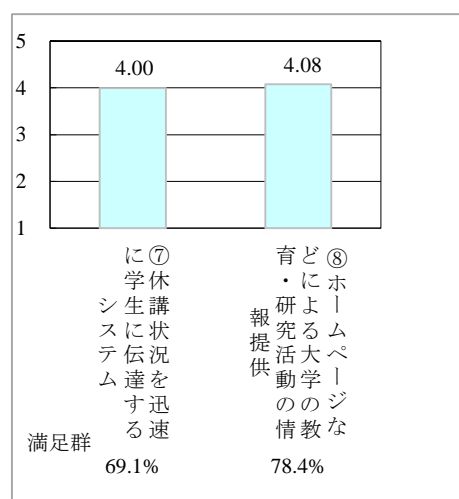


図3 平成27年度 情報提供についての満足度 (学部生)

### 3.4 学習環境と施設・設備についての満足度

満足度が非常に高い項目が多かった。学習環境や施設・設備について、多くの学生が満足していることが示された。一方、「⑱駐輪場の設置場所や設置数」は、全項目中で満足度が最も低かった。

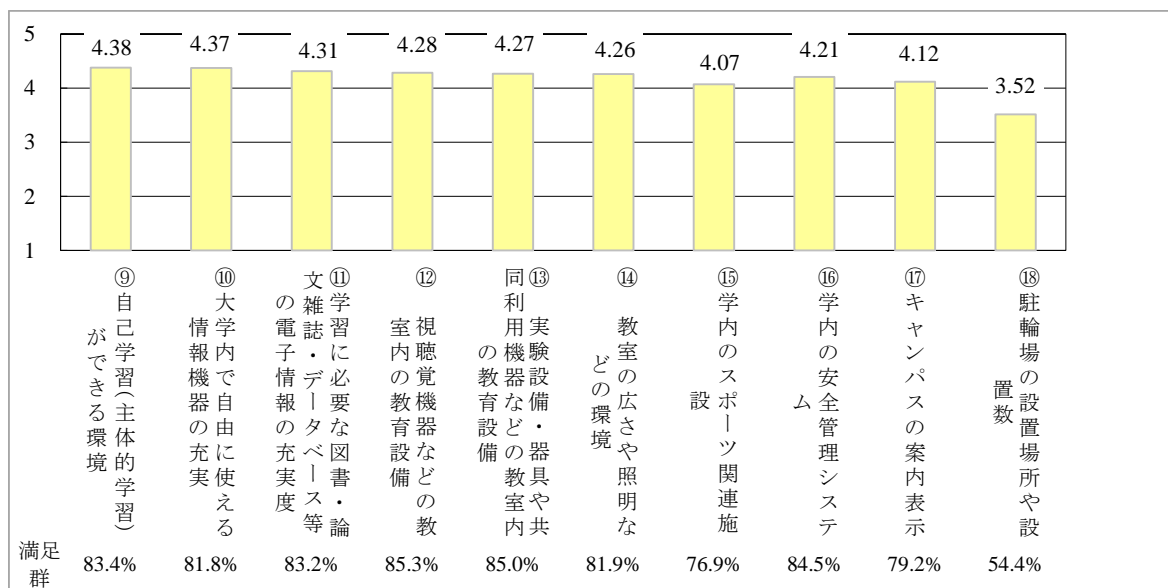


図4 平成27年度 学習環境と施設・設備についての満足度 (学部生)

### 3.5 評価・カリキュラムについての満足度

他のカテゴリと比べると全体的に満足度がやや低かった。

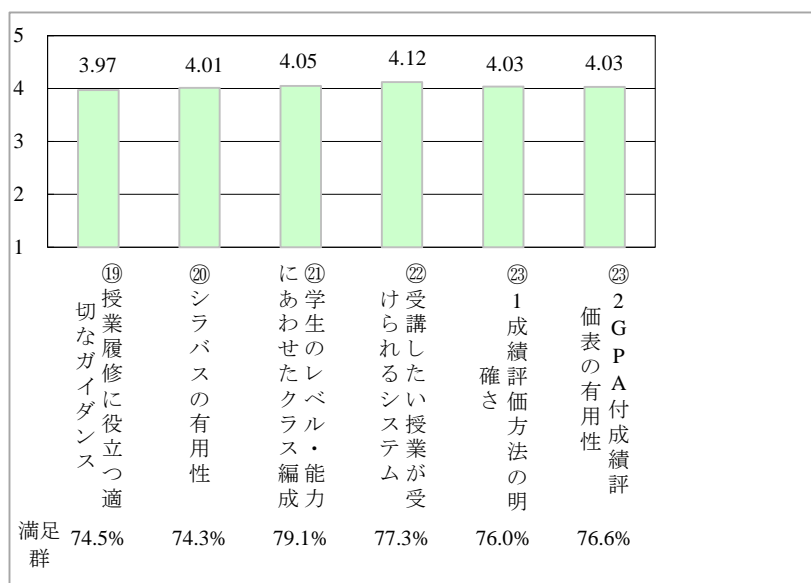


図5 平成27年度 評価・カリキュラムについての満足度 (学部生)

### 3.6 進路支援についての満足度

「<sup>②⑥</sup>資格や免許を取得することに対する大学の支援」や「<sup>②⑧</sup>大学院進学に役立つ教育の提供」などの項目の満足度がやや低く、他のカテゴリと比べると全体的に満足度がやや低かった。

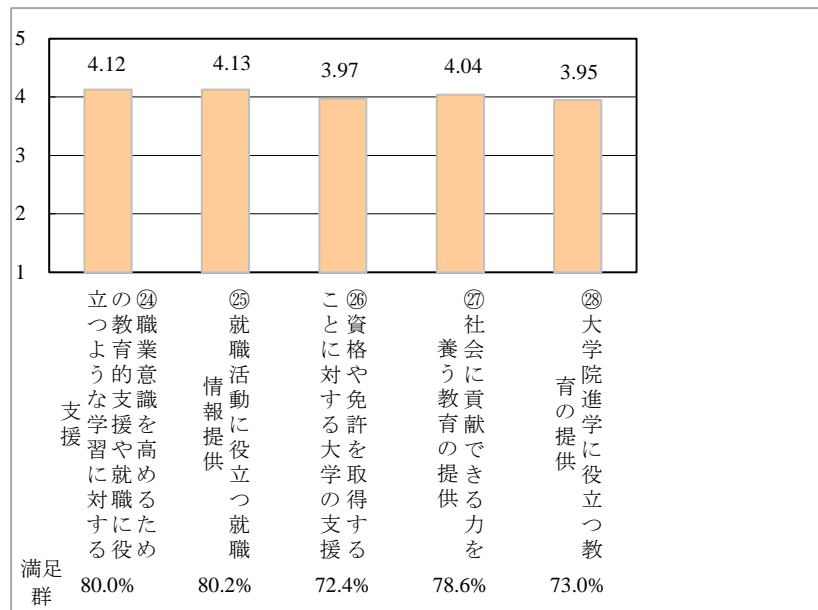


図6 平成27年度 進路支援についての満足度（学部生）

### 3.7 学生サポートについての満足度

カテゴリ内では、「<sup>③①</sup>教員による個別の学習支援や生活支援」や「<sup>③②</sup>ボランティア、課外活動などの社会活動に対する大学の支援」などの項目の満足度が高かった。

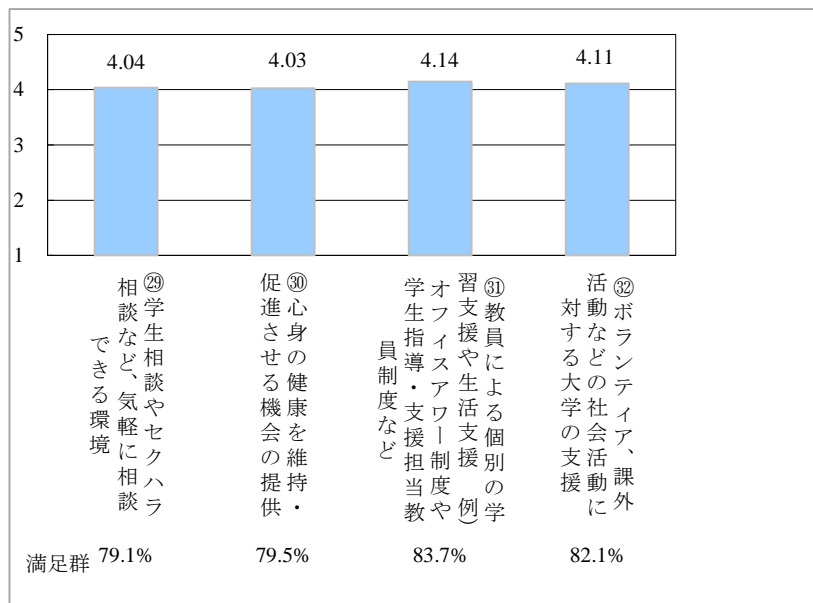


図7 平成27年度 学生サポートについての満足度（学部生）

### 3.8 授業についての満足度

満足度の高い項目が多かった。特に、「③⑤教養教育/共通教育の保健体育関連授業」や「③⑥ ③③～③⑤以外の教養教育/共通教育の授業」、「③⑧幅広い教養を身につけられる教育の提供」、「③⑨学部専門の授業」、「④⑩自分の所属する学部(学科等)のカリキュラム(教育課程)」、「④②実習をともなう授業」、「④⑤卒業研究指導」などの平均値は非常に高く、満足している学生の割合は85%以上(もしくは85%近く)であった。このことから、様々な種類の授業に対して非常に多くの学生が満足していることが示された。

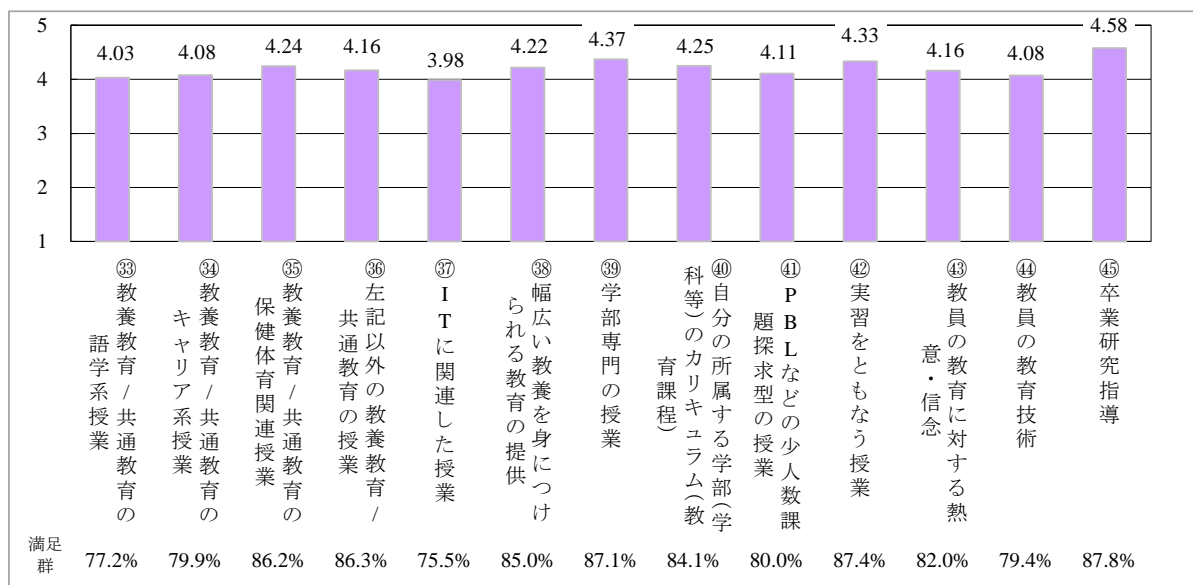


図8 平成27年度 授業についての満足度 (学部生)

## 第Ⅱ部 大学院生対象

### 1. 調査目的 (p1を参照)

### 2. 調査概要

- (1) 調査対象 三重大学大学院に在籍する全ての大学院生 1,163名
- (2) 調査時期 平成27年12月～平成28年1月
- (3) 調査方法 質問紙調査と三重大学ウェブ調査システムによる調査の2種類の方法のうち、学生がどちらか一方を選択して回答した。
- (4) 分析対象者 有効回答者数名 451名 (38.8%) から、修士/博士前期課程の在籍年数が3年目以上の学生と博士/博士後期課程の在籍年数が4年目以上の学生を除いた 437名を分析対象者とした。

表1.2.1 分析対象者数

	科人文社 学会	教育 学	医 学 系	工 学	生 物 学 資 源	シベ地 域 シイ 学 ヨノ	合 計
修士/博士前期	16	33	16	223	73	10	371
博士/博士後期	-	-	45	7	11	3	66
合計	16	33	61	230	84	13	437

### 3. 結果

三重大学大学院の教育に関する23項目について平均値と満足群を算出し。(算出方法はp1を参照)。

#### 3.1 大学全般についての満足度

**修士/博士前期課程** カテゴリ内では「③学生の意向が教育に反映されるなど、三重大学大学院の教育を改善しようとする大学の姿勢」についての満足度がやや低かった。

**博士/博士後期課程** 「④事務職員の窓口での学生対応」は、平均値が4.5点(6段階評定で「やや満足」と「満足」の間にあたる)以上と非常に高く、90%以上の学生が満足していることが示された。

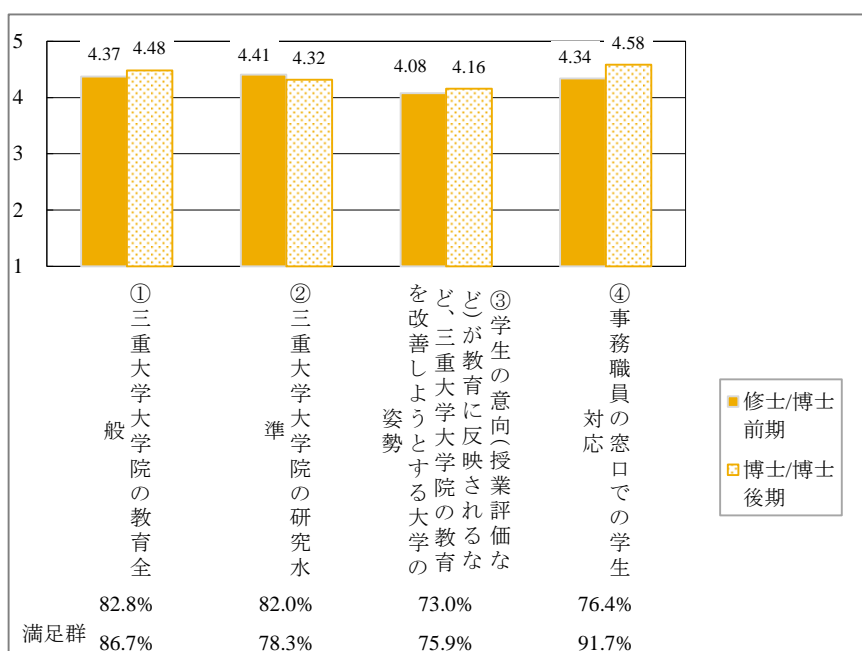


図9 平成27年度大学全般についての満足度(研究科学生)

### 3.2 大学院の教育についての満足度

**修士/博士前期課程** 「⑧最先端の研究や高度専門知識の教授」や「⑩日常的な研究指導」、「⑪学位論文指導」の平均値が4.5点（6段階評定で「やや満足」と「満足」の間にあたる）以上と非常に高く、両項目とも学生が非常に満足していることが示された。

**博士/博士後期課程** 全ての項目において満足度が非常に高かった。特に、「⑧最先端の研究や高度専門知識の教授」や「⑨現場体験や現場実習」や「⑩日常的な研究指導」、「⑪学位論文指導」は、平均値が4.5点以上と非常に高く、85%以上の学生が満足していることが示された。

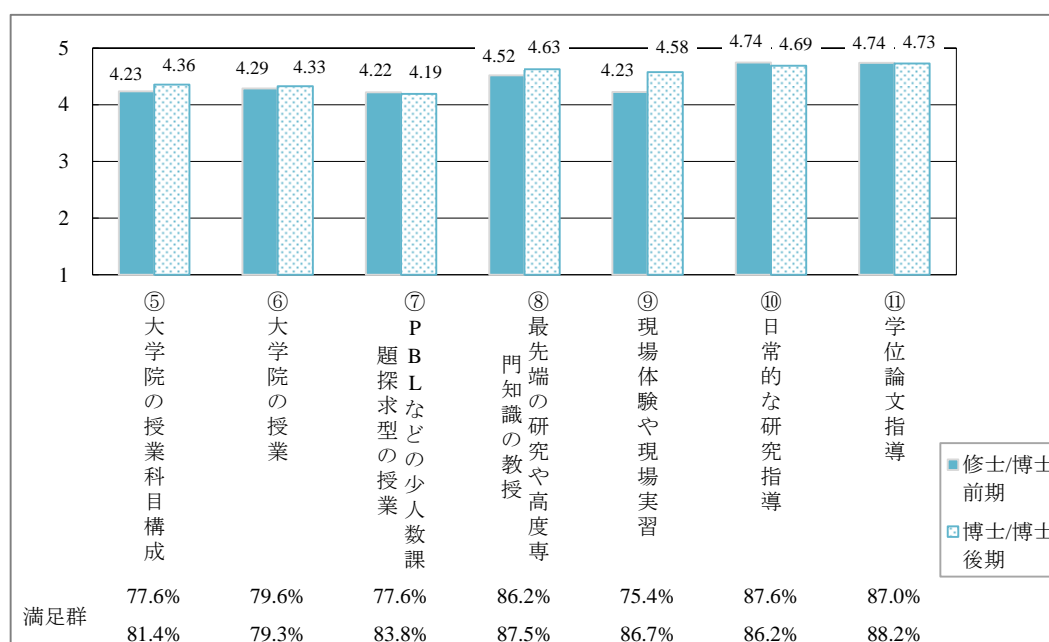


図10 平成27年度大学院の教育についての満足度(研究科学生)

### 3.3 研究環境についての満足度（次ページ図11）

**修士/博士前期課程** 「⑮研究室内の人間関係」は、平均値が4.5点（6段階評定で「やや満足」と「満足」の間にあたる）以上と非常に高く、90%近くの学生が満足していることが示された。

**博士/博士後期課程** 平均値が4.5点以上ある満足度の高い項目が多く見られた。

### 3.4 学生サポートについての満足度（次ページ図12）

**修士/博士前期課程** 他のカテゴリの項目と比較すると、満足度が顕著に高い項目は見られなかった。「⑯資格や免許を取得することに対する大学の支援」や「⑰博士課程への進学に役立つ情報提供」は、修士/博士前期課程の全項目中で平均値が3点台と低かった。

**博士/博士後期課程** 満足度の高い項目が多く見られた。特に、「⑰就職に役立つ情報提供などの支援」については、90%以上の学生が満足していることが示された。

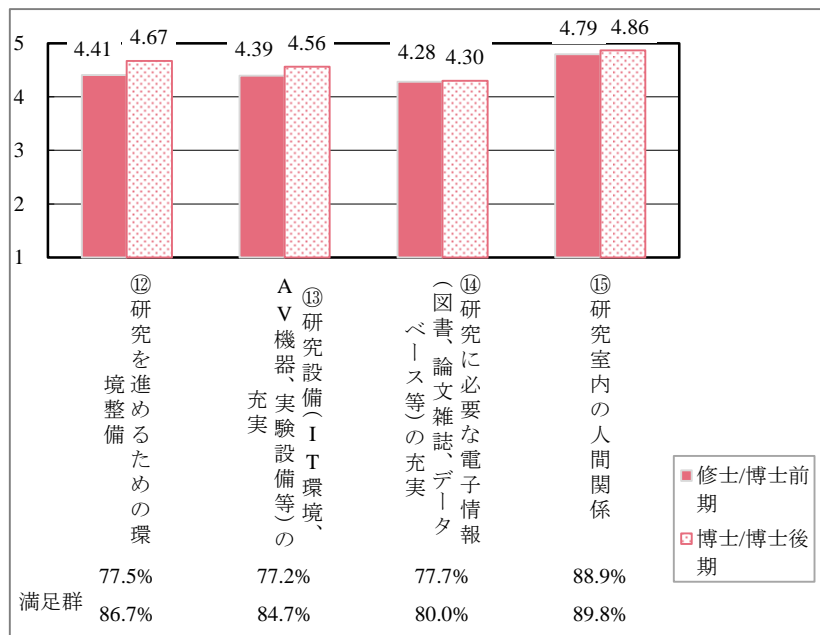


図11 平成27年度研究環境についての満足度(研究科学生)

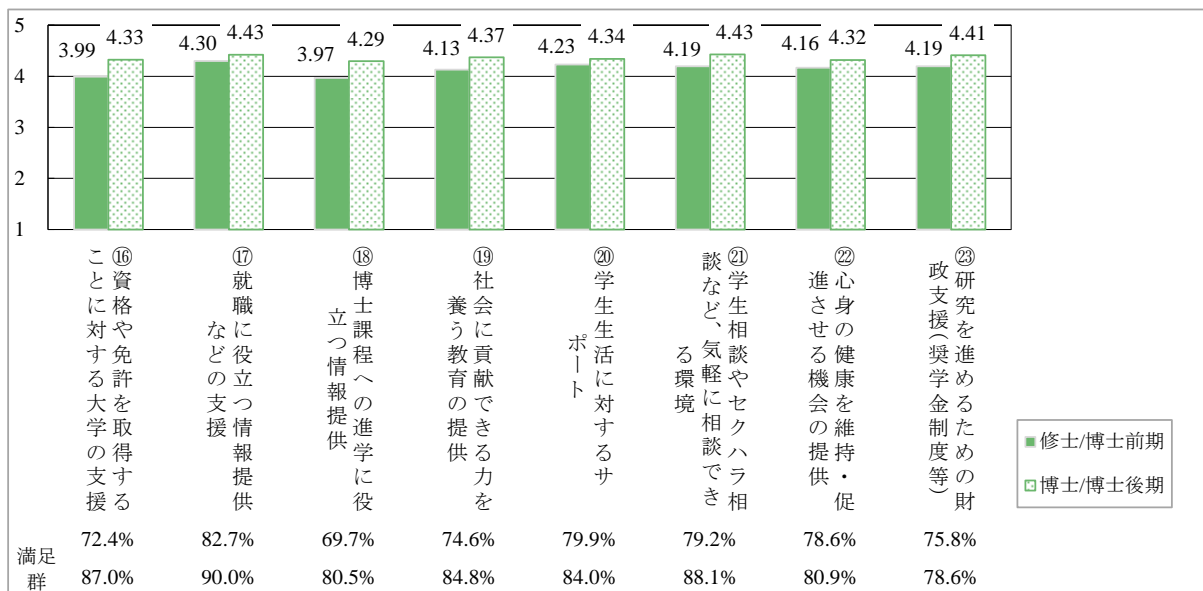


図12 平成27年度学生サポートについての満足度(研究科学生)

(お知らせ)

高等教育創造開発センターのホームページでは、各種アンケート調査の結果についての学部ごと、研究科ごとの詳細な情報も掲載しています。詳細な結果の掲載はお時間をいただくことがありますのでご了承ください。

高等教育創造開発センター > メニュー > HEDC 報告書  
> 平成27年度教育満足度調査報告書(学部生)と(大学院生)

URL <http://www.hedc.mie-u.ac.jp/report/report.html> (QRコード)

